THE NIPPO－TSUSHIN
(THE BEE JOURNAL IN JAPAN)
Published monthly on the 25th of each month by
THE JAPAN BEEKEEPING ASSOCIATION
2－6－16 Shinkawa Chuō-Ku TOKYO
104-0033 JAPAN

日蜂通信

THE NIPPO-TSUSHIN　第606号
2015年（平成27年）3月25日発行

（〒104－0033）発行所
一般社団法人　日本養蜂協会「日蜂通信部」
東京都中央区新川2－6－16（馬事畜産会館内）
TEL 03(3297)5645(代)　FAX 03(3297)5646
毎月1回25日発行
購読料…一般(年)3,600円・会員(年)1,700円(郵便共)
お振込は現金送金又は　三菱東京UFJ銀行本店 普通 7694901
郵便振替 振替口座 00100-4-34317

第74回 通常総会 開催

第74回通常総会は、2月27㈮午後1時より東京都千代田区KKRホテル東京で行われ、全国都道府県代議員及び多数の来賓を迎え、盛大に開催された。

総会では、川原副会長より「会員の皆様方には、日頃から日蜂協にご協力、ご支援を賜り心から厚く御礼を申し上げます。会員の皆様方が一致団結をして養蜂業界をまとめて引っ張っていくという考え方のもとで、前向きで建設的な意見を賜り、この総会が終わりましたら、それぞれの立場でそれぞれの地域で養蜂の振興に頑張っていただければと思っております。農薬被害の問題、蜂の病気の問題等の難問を抱えておりますが、大島会長も積極的にこれから取り組んでいく必要があると思っております」との挨拶があった。

第74回 通常総会

次に、農水省畜産振興課小林博行課長からは、「前日の講演会にて宮田課長補佐が最近の情勢や事業の話を申し上げたと思います。その中で、畜産クラスター事業の紹介があったと思います。私共の今年度の大きな事業として畜産の中核的な形態を中心にして、地域の方々と新しいことをやる取り組みです。養蜂においてどういった内容が考えられるかは皆様に委ねられておりますが、積極的に構想をお示し頂ければと思っております。

この1年間で養蜂業界として大きなことが2つありました。1つ目が蜜源として重要とされているニセアカシアの扱いについてです。産業管理外来種、管理を上手くやれば今まで通りに使っていけるということになっております。これはガイドラインとして機能し、現場でも管理する際の指針となります。

2つ目は農薬の関係についてです。厚労省食品安全委員会で協議を重ねた上で基準策定を進めておりましたが、厚労省から0・2ppmを案としてパブリックコメントに示されました。最終的には、シーズンに間に合うような段取りで進めております」との挨拶があった。

続いて、来賓としてお越しいただいた宮腰光寛衆議院議員、坂本哲志衆議院議員、江藤　拓衆議院議員、若林健太参議院議員から挨拶があった。その他にも多数の来賓がご臨席された旨の報告があった。

その後、日蜂協表彰状・会長感謝状の授与が行われた。

会議は西塚事務局長より会員総数47のうち、本総会へは委任出席8団体を含め全47団体が出席し、定款第十七条第一項の定足数を満たしたことで本総会が成立した旨の報告があった。

続いて、議長選任に移り、依田清二氏(長野県)が選任された。議事録署名人は、議長一任となり、黒田雄一氏（栃木県）、島津英明氏（千葉県）が委嘱され、議事に入った。

第74回通常総会 来賓ご芳名

（敬称略・順不同）

◆国会議員
宮腰光寛
坂本哲志
江藤　拓
若林健太

◆農林水産省
【生産局】
畜産振興課
課長　小林博行
課長補佐　宮田　透
養鶏・小動物係長
小林曜子
園芸作物課
課長　菱沼義久
課長補佐　土佐竜一

訪花昆虫係　村山千絵

◆業界団体
公益社団法人中央畜産会
副会長　南波利昭
一般社団法人全国はちみつ公正取引協議会
会長　早川幸男
専務理事　増田秀一
一般社団法人全国ローヤルゼリー公正取引協議会
会長　松香光夫
副会長　小田忠信
専務理事　高橋克美
全日本はちみつ協同組合
事務局長　小島　浩

議長が本議案について意見を求めたところ、異議なく可決承認された。

①平成26年度貸借対照表及び正味財産増減計算書承認の件

西塚事務局長から資料に基づき報告があり、土屋監事より会計監査が適正である旨が報告された。

議長が本議案について意見を求めたところ、異議なく可決承認された。

②平成27年度会費の賦課及び徴収方法に関する件

西塚事務局長より資料に基づき報告された。

議長が本議案について意見を求めたところ、異議なく可決承認された。

③定款変更に関する件

西塚事務局長より資料に基づき報告された。

議長が本議案について意見を求めたところ、異議なく可決承認された。

④理事及び監事の選任に関する件

西塚事務局長より資料に基づき報告された。

議長が本議案について意見を求めたところ、春日住夫氏（岐阜県）のような発言があった。

日本養蜂協会の役職としては会長及び副会長があるが、副会長には実際に養蜂業を営む養蜂家に就任していただきたい。

西塚事務局長

第4号議案の理事候補者が承認を受けた時点では、皆が平等な理事である。役職については理事会の決議によって理事の中から選定することが定款で定められているので、意見を踏まえて役職の選定をさせていただく。

その後、議長が第4号議案の理事及び監事候補者について一括承認により諮られ、賛成多数により異議なく可決承認された。

⑤その他

議長はその他について議場に意見等を求めたところ、次のような発言があった。

木村眞實氏（東京都）

多くの蜂群をヨーロッパ腐蛆病のために焼却処分している。昨今、アピテンもアメリカ腐蛆病に耐性があると感じており、実際に腐蛆病検査で検出されている。獣医の処方による特例使用によって蜜蜂にオキシテトラサイクリン（以下OTC）を使用することができるが、獣医もデータが無ければ処方できない。そこで、今後は各地区に蜜蜂に関する獣医を設置し、その獣医に知識を持ってもらい、処方してもらうしか方法がないと考える。

羽佐田理事（第3委員長）

平成25年度国庫補助事業　希少疾病等用動物用医薬品実用化促進事業によって、最終的に承認申請を行うという事で補助金をいただき、試験を行った。

しかし、効果にバラつきがあり、また、耐性菌を誘発する懸念が高いという結果が出た。この試験をやり直しても予定していた申請メーカーは販売することが難しいという意見だったことから、事業としては終了し、得られたデータについては有効な活用方法を検討するということになった。

法律上は動物医薬品の特例使用、獣医師の特例使用というものがあるが、これらはあくまでも獣医師及び使用する養蜂家の自己責任によるものである。また、これについて、農林水産省からは好ましくないという見解をいただいている。

鈴木新栄氏（山形県）

農薬による蜜蜂被害は日本全国の養蜂家が抱える問題である。養蜂家がいくら技術的に優れていて蜜蜂を増やしても、その矢先に蜜蜂は農薬で死んでしまう。原因はネオニコチノイド系農薬である。使い方や剤形の変更ではなく、早急に、別の薬剤に切り替えていただきたい。協会が先導して、ある程度の行動を起こす計画を早急にお願いしたい。

川原副会長

十分に多方面から検討した上で取り組まなくてはならない問題であることから、理事会でしっかりと検討をさせていただきたい。

以上で第74回通常総会は閉会した。

安全養蜂専門着　ビーハンター

蜜蜂に刺されないで作業ができる安全服。
冬から春先、早朝の採蜜作業などに大変好評を頂いております。

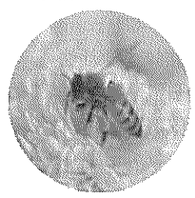
ジャケット＆作業ズボン一式（S、M、L、LL）
27,972円 送料1,080円(補修ネット864円　〒120円)
新養蜂カタログ進呈中！

〒463-0010　名古屋市守山区翠松園一丁目2011番地
㈱養蜂研究所　TEL 052-792-1183
FAX 052-792-2025
郵便振替　00890－2－18857

台湾南興巣礎
巣盛が良い品物をお届けします。
＜ご注文・お問合せ先＞
静岡市清水区今泉 89-6（〒424-0874）
有限会社クヰンビーガーデン(担当：前田)
TEL: 0543-45-6217　FAX: 0543-45-5019

上質生ローヤルゼリー
品質絶対保証品をお届けします。
東京都千代田区一番町 22-7（〒102-0082）
東明物産株式会社（担当：下島）
TEL: 03-3262-5148　FAX: 03-3234-5169

アメリカ腐蛆病の予防に
動物用医薬品　使用基準
大切な"はち"を病気からまもる
みつばち用アピテン®
建勢期、越夏期に…



※使用方法等ご不明な点はお問い合せ下さい。

AH&NS
製造販売業者
アリスタヘルスアンドニュートリションサイエンス株式会社
東京都中央区明石町 8-1　聖路加タワー 38 F

発売元
フィード・ワン ホールディングス株式会社 グループ
日本配合飼料株式会社 中央研究所
茨城県神栖市東深芝 4-2
TEL 0299-92-9947 URL http://www.nippai.co.jp/